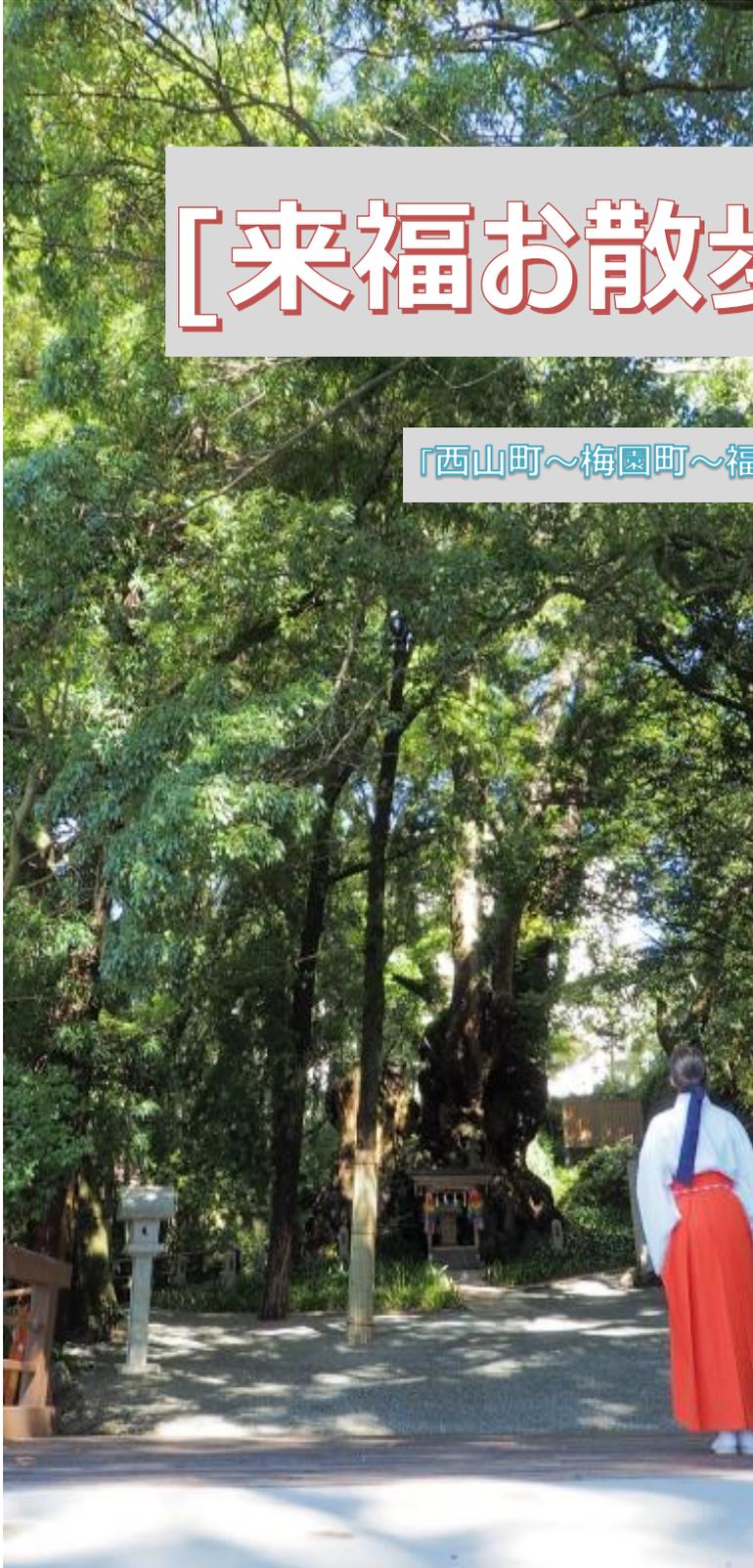


[芳泉閣 お宿周辺の見どころをご案内いたします]

[来福お散歩マップ]

「西山町～梅園町～福道町～上宿町」



芳泉閣の位置する熱海市西山町は、来宮神社の鎮守の杜に囲まれた、緑多く清々しい風を感じる運氣あふれる高台にあります。古より、この地を気に入った文豪や多くの賢人たちが、別荘や終の棲家として、西山の地に居を構えておりました。近年は、パワースポットとして有名な来宮神社に多くの参拝客が絶えません。来宮駅から神社に至る通りには、「来福スイーツ」という名前の美味しいお菓子が、皆様方をお待ちしております。熱海温泉発祥の地、大湯間歇泉まで周辺をぐるりと巡って素敵な幸運を手に入れてください。

その他にも、日本一早く咲く梅が溢れる熱海梅園など見どころは満載です。

来宮神社大楠風景

パワースポットで有名な来宮神社は、当館から下り坂で徒歩6分。無料駐車場有ります。



早春の梅に、晩秋の紅葉を愛でる

日本一早咲きの梅を楽しんでもいい。日本一遅い紅葉を愛でて面白い。もちろん初夏の若葉も・・・きっと自分の知らない自分に出会えるはず。

早春の梅、晩春の紅葉。熱海梅園まで当館から徒歩 10 分。

熱海梅園三二知識

熱海梅園は、市街地西側のゆるやかな山間に位置し、三方を熱函道路などの主要道路に囲まれた4.4haの都市公園です。園の歴史は古く、横浜の豪商茂木惣兵衛が、明治19年（1886年）に2.5ha開いたのが始まりで120年以上の歴史があります。市では、この園を昭和6年から昭和35年まで約29年間直接管理し、その保護に努めてきました。昭和35年10月に熱海国際観光温泉文化都市建設法（昭和25年8月公布）により、大蔵省より熱海市に無償で払下げられました。その後園内整備をおこない昭和41年4月1日に開設し、日本一早咲きの梅、日本一遅い紅葉の名所としても全国にその名を知られています。熱海市名誉市民で文化勲章受章彫刻家である澤田政廣（さわだせいこう 1894～1988）の彫刻、絵画、コレクションなどを展示している澤田政廣記念美術館も園内に位置しています。美術館内では多くの彫刻作品が展示ケースに入れられることなく展示されており、代表的な木彫作品に見るノミの跡からは、作者の息づかいまでが伝わってくるかのようです。熱海の海辺に育った澤田政廣（本名、寅吉）は、19歳で彫刻家を志し、高村光雲（たかむらこううん）の高弟山本瑞雲（やまもとずいうん）に師事しました。93歳で没するまで、多くの木彫作品をはじめ、絵画、陶芸、版画、書など、さまざまな芸術領域にわり意欲的に創作しました。



(左) 熱海梅園正面入り口。

梅園は当館より徒歩 10 分。

日本一早咲きの梅が咲き誇る熱海梅園梅まつりは、
例年 1 月 15 日開園です。

(下・左) 梅園内にある梅見の滝。滝の裏側を通り抜けることもできます。

滝の上には、日本を代表する木彫家、澤田政廣記念美術館があります。



(下・右) 同じく園内にある中山晋平記念館。中山晋平も熱海の地から多くの名曲を送り出しました。



(左) 澤田政廣記念美術館

館内にある美術品の多くが、展示ケースが無い状態で展示されています。一つ一つのノミの跡がまじかに見ることができ、中でも日本神話に題材を取った作品群の彩色彫刻の造形
の美しさには、目を見張るものがあります。

館内 2 階の資料室には、澤田氏が個人的に収集した江戸時代から明治・大正期の熱海の古地図が展示してあります。



来福スイーツの旅

来宮駅から来宮神社に至る通りは、明治時代から来宮神社への表参道として、多くの参拝客で賑わいました。平成の世、通り沿いの3軒のお菓子屋さんたちが、熱海名物のおいしいお菓子を誕生させました。熱海のおみやげにぜひどうぞ。

梅園から、神社から、当館から、来宮駅前「来福通り」まで、徒歩10分。

来福(らいふく)スイーツとは？来宮神社ゆかりの開運スイーツ！



来宮神社の御祭神が熱海にお着きに成った際、「麦こがし・橙・ところ・百合根」をお供えしたところ、御祭神が大変喜ばれたという古記が伝わります。神社直営オープンカフェ茶寮「報鼓」や「おやすみ処」を始め、来宮駅前福道町商店街のお菓子店や飲食店が、神社の縁のある食材を使い、ご当地ならではのスイーツや食べ物を新メニューに加えました。神社にて心さやかに参拝し、梅園では四季の移ろいと自然の美しさを感じて戴き、福道町の来福通りで独創性豊かなお菓子をお楽しみ下さい。

来宮神社直営お休み処



ほとんどの商品は、来宮神社境内内の茶寮報鼓または直営お休み処にても販売しております。

熱海市西山町 43-1 神社正面入り口鳥居横

営業時間 午前10時から午後4時半まで

菓子の木（かしのき） J R伊東線来宮駅前



J R伊東線来宮駅前にある、フランス菓子の店「菓子の木」は熱海名産のダイダイをふんだんに使用した「熱海だいだいだックワース」が有名。熱海市認定銘菓「A-PLAS」に指定されました。来宮神社の大楠をイメージした来福スーツ「来宮大楠ロール」もおいしいです。優しいご夫妻の手作りケーキが店のショウウィンドウに所狭しと置かれています。店の奥では、フランス帰りの息子さんが一生懸命ケーキ作りに励んでいます。



菓子の木「お店情報」

電話番号 0557-83-7281

住所 413-0017 熱海市福道町7-17

営業時間 10:00~19:00 定休日 水曜日



ご主人から一言

菓子の木の焼き菓子の中でも、特にダックワースは人気が高く、贈答品として、お茶請けとして喜ばれています。特に東京からのお客様にお土産として使っていただくことも多かったので、熱海という特徴を活かしたお菓子にするために、だいだいのマーマレードをダックワースのクリームに使用することでだいだいだックワースが出来上がりました。だいだいの少しほろ苦さが、菓子の木の美味しいバタークリームと調和して口の中で温

かみのある優しさが広がります。ご来店お待ちいたしております。

来宮久遠（きのみやくおん） J R伊東線来宮駅前



J R伊東線来宮駅前にある、ベーカリー「来宮久遠」は、熱海駅から徒歩2分ほどの仲見世通り商店街にあるベーカリー「パン樹久遠」の2号店で、外はサクサク、中はもちもち食感の天然酵母クロワッサンが人気です。他にもフランスパンや餡パンなどの菓子パン、サンドウィッチなど様々な種類のパンがごぞいます。ドリンクなどもあり、店内にてお召し上がりいただけます。



来宮天狗ラスクについて、ご主人から一言

熱海と縁の深い「むぎこがし」をラスク自体に隠し味で使用しておりますが、さらにお好みで麦こがしをつけてお召し上りください。こくのある味噌風味の「和」ラスクとなっています。普通、ラスクといえば、シュガーバターやガーリックをつかったフランスパンのラスクが一般的ですが、来宮天狗ラスクは、見た目も独特ながら、東海地方の味噌を使用した和的要素を持つ

た商品です。使用するパンには「むぎこがし入り」のパンを使用しております。お好みにより、麦こがしをまぶして食べるとより風味が強くなります。パンの耳を使用しておりますが、高品質な副材料を使用し手間暇を掛けた、販売実績のある商品です。手に取っていただきやすいお手頃な価格にしておりますので、気軽な熱海土産としてご購入を求めています。また国の天然記念物でありパワースポットとしても有名な「来宮神社の大楠」をイメージしたパッケージを用意しております。来宮神社参拝のお土産に最適です。

来宮久遠「お店情報」

電話番号 0557-82-0588

住所 413-0011 熱海市福道町3-16

営業時間 7:00~17:00

定休日 毎週日曜日



(左) 箱もおしゃれな天狗ラスク

(右) 出来たてのパンが所狭しと並ぶ店内。

店内では、煎れたてのコーヒーも飲めます。

夏季シーズンには、かき氷も始まります。

健康パン来の宮店 JR伊東線来宮駅から神社方面徒歩2分



来宮神社例大祭「こがし祭り」の名前を頂いた「こがしまんじゅう」が名物の健康パン。店名がパン屋なのにパンは一個も売っていない、昔ながらの和菓子屋さんです。神社の特別なおそなえものの「麦こがし」の粉を使用して、上品な甘さと、香り高い味で好評の「こがしまんじゅう」の他にも、炭火で焼いたみたらし団子や、小ぶりのどら焼きもお薦めです。お店の人は、奥で休んでいるので、声をかけてください。(笑)

健康パン「お店情報」

電話 0557-81-3378

住所 413-0017 熱海市福道町7-9 営業時間 9:00~19:00 定休日 水曜日



こがしまんじゅうの由来

来宮神社神幸祭が七月十六日執行されます。来宮の神々を御鳳輦（ごほうれん）に乗せ、町に降ります。町の繁栄を祈る神事です。

神々に供奉する宮司・神官をはじめ、総代・神役など御神幸行列は総勢五百名を超え、壮大な時代絵巻の再現となります。

行列の中の猿田彦は天尊降臨の際案内した神様で、御鳳輦に鎮座する来宮大神の案内をする役割です。御祭神と御縁の深い『むぎこがし』を道



に撒き道中を御案内し、また人々は其のこがしに触れると無病息災・身体健康になると伝えられています。

その『むぎこがし』を使用したお饅頭がこがしまんじゅうです。

例大祭では、このこがしまんじゅう神前にお供えし、熱海の町の繁栄を祈念します。

そば処 すゞき

J R伊東線来宮駅から神社方面徒歩1分



J R伊東線来宮駅横にある、そば処「すゞき」は主人自ら早朝から打つ手打ちそばと、こしのある手打ちうどんがおいしいそば店です。お勧めは、手打ちカレーうどん。その他にもお皿に入りきれない大きな海老の天ぷらが載った天井も美味しいですが、なかでも来宮神社と共同開発（笑）した天狗そばをぜひ一度お召し上がりください。ボリューム満点の一品です。



(写真上) あっと驚く！天狗そば

そば処 すゞき「お店情報」

電話 0557-81-3378

住所 413-0017 熱海市福道町7-9

営業時間 9:00~19:00 定休日 水曜日

茶寮『報鼓』

来宮神社境内参集殿横



来宮神社宮司よりご挨拶

熱海や伊豆の特産物を召し上がって、お飲物などを持ちながらでも境内を気軽に散策して頂きたく、境内参集殿脇に新たに茶寮「報鼓」を、境内参集殿横に設けてございます。地元ならではの食べ物もご用意してございますので、旅の思い出に是非ご賞味下さい。報鼓とは、祭事を始める際に鳴る太鼓の合図のことです。皆様が集い、新たな縁の始まりとなるようお願いを込め、名付けました。



(左 報鼓店内の来福スイーツ各種)

来福プロジェクトに賛同された各シェフ・各店のオーナーが腕によりをかけて開発して逸品となった「来福スイーツ」のシリーズ全てをカフェ報鼓で取り扱いをしております。どうぞご賞味下さいませ。緑に囲まれた境内のお好きなお召し上がりいただけるよう工夫し、全て手に持って行かれるようにしています。どうぞ、お手に持って緑の中でおくつろぎ下さい。

TEL : 0557-82-2241 (神社社務所) 営業時間 午前10時から午後4時半まで

湯前神社 来宮神社から宮坂を下りた上宿町に鎮座



いにしえからの熱海温泉の中心地で、今でも多くの源泉が自噴しています。社前には走り湯と並び熱海温泉本来の源泉とされる大湯（おおゆ）が湧き、日帰り共同浴場となっている「日航亭大湯」があります。

熱海温泉の守り神として少彦名命（すくなひこなのみこと）が祀られています。天平勝宝元年（794年）、少彦名命が小童に神託し、当地の温泉の効能を示したと言われ、里人が祠（ほこら）を建て、これを祀ったのが神社の始まりです。

来宮神社より、ジョナサン横（宮坂）から徒歩3分

（左 湯前神社例大祭で賑わう境内）



（写真左 境内内の鳥居横に湧く源泉）



熱海七湯 大湯間歇泉 湯前神社から徒歩1分



熱海七湯の一つ「大湯間歇泉」は、古くからの間歇泉で世界的にも有名な自噴泉でありました。「大湯」の噴出は昼夜6回あり、湯と蒸気を交互に激しい勢いで吹き出し、地面が揺れるようであったといわれます。明治中頃から次第に減少し1923年（大正12年）に止まってしまいましたが（大地震の際に再び噴出したこともありましたが）、1962年（昭和37年）に、市の文化財として保存し、現在に至っています。

湯前神社横 日帰り温泉

日航亭大湯



日航亭 大湯玄関写真

■住所

静岡県熱海市上宿町5-26

TEL: 0557-83-6021

FAX: 0557-85-1425



露天風呂



内風呂

館内に源泉が2本あり、1日8万リットル自噴。日替わりで男女入れ替え制。

■営業時間・料金

営業時間	8:00-21:00
休館日	無休
料金	1000円

■駐車場

専用駐車場有り

■アクセス

来宮駅からは、徒歩約6分。ファミリーレストラン「ジョナサン」横、「宮坂」を下り、湯前神社真横です。

最後になりましたが、当館にご到着または、お帰りの際には、佐佐木信綱の旧居

「凌寒荘」（当館駐車場より、徒歩1分）にぜひお立ち寄りください。



佐佐木信綱旧居 凌寒荘 (りょうかんそう)

国文学者で特に「万葉集」の研究者として優れた業績を残した佐佐木信綱の旧宅です。信綱は病後の静養の地として、昭和19年に温暖な熱海に居を構え晩年を過ごしました。

建物の内部には入れませんが、庭園には「万葉集」に歌われた草木が数多く植えられ、信綱の詠んだ歌の説明板が配置されています。

開館時間：午前10時から午後4時まで（土曜・日曜のみ開館）入館料無料